

1. 教育活動の基本方針

- ・公務員・医療事務等の医療従事者・民間企業への就職に対応できるカリキュラムを遂行し、多方面において社会貢献できる人材育成を目指した事業を行った。
- ・専門分野の深い知識・技術に加え、幅広い分野のビジネス科目の履修を通して、総合的な教養と豊かな人間性を涵養していく教育課程及び内容を整えている。本校の設置する教育課程に生徒の満足感と評価が得られるよう、常に教育内容の再構築を検討していきたい。

2. 経営安定化への取組み

- ・要となる生徒募集体制の見直しを行い、地道な広報活動を行っている。令和3年度以降は結果に繋がる募集活動を確実に実現し、財政基盤を強化する決意である。
- ・主としている、生徒募集における広報強化学業は、令和3年度に向け広報体制の立て直しを行った。広報手段の検討を繰り返し、結果を重視した体系的な広報戦略の計画・実行・検証を継続して行っていく。

3. 特別強化学業

【組織の充実・強化】

- ・医療系コースにおいて、「医科」「歯科」「調剤」「福祉」「ビジネス」の5分野に亘る多面的かつ厳選された検定試験の取得を目指す教育課程に変更し、卒業後の多方面での社会貢献を目指す教育内容を構築した。公務員系・医療系共に、長く社会で活躍していく将来を見越し、幅広い知識を身に付けることの必要性をガイダンスした上でカリキュラムを進めていった。

【広報関連強化学業】

- ・常に数値目標を念頭にターゲット校を意識し、コースに合わせた担当者の訪問や配布資料の内容など、対象校に合わせた高校訪問を実施した。高校への訪問報告、ガイダンス等への参加者状況等、広報担当者間での情報共有を行い、体系的な生徒募集を進めていけるよう努めた。しかし、数値目標の達成には至らず、広報内容の見直し、魅力のブラッシュアップ、周知方法を再構築し、結果に繋がる活動となるよう更に体制を整えていく。
- ・高校訪問においては感染症の影響が大きく、高校内の担当教員との面会が叶わないこともあった。面会予約の取得や事務窓口への依頼等、時期に応じて苦慮しながら進めた。次年度は年4回の訪問を基本とした効率的な高校訪問や適切な情報共有を行い、結果に繋がるより良い体制作りを実行していく。
- ・令和4年度入学生向けの学校案内は、特に医療系のカリキュラム変更やアピールポイントの明確化を意識し、ページ内容の改変等変更を行った。

【入学者増に向けた取組みの実施】

- ・医療系コースの魅力を上げるため、令和3年度入学生より適用となる教育課程の変更を行った。医療福祉系の資格取得に加え、ビジネス系要素を多く取り入れた新カリキュラムの実行により、医療事務や歯科助手、登録販売者に加え幅広い就職支援を行い、口コミにも繋がる在校生の満足度を向上させていきたい。

4. 設備の維持・管理

- ・学校施設の使用方法を指導し、施設・設備の維持に励んだ。水回り等の不具合があったが早急に対応し、大きな修理等の必要はなかった。また、実技学習を通して、各実習室の活用はされている。一層の実践的学習のため、活用の充実化を実現していく。

5. 広報活動重点計画

- ・Tutor2020（夜間講座）は、過去最高の参加登録数である42名であった。本校の指導力PRの場としては有意な企画であるといえる。しかし、Tutor生からの入学が大変少なく、現役合格や進路変更があったことを加味しても、広報的意義を結果に反映できるよう取り組んでいきたい。
- ・オープンキャンパスは、感染症対策のため在校生の参加を中止し、教員のみでの対応や個別対応で実施した回もあった。盛り上がりには欠けるものの、丁寧な対応を最大限心掛けた。
- ・ホームページを一新した。情報のタイミングが適時ではない更新もあり、更に業務管理を徹底していくこととしている。